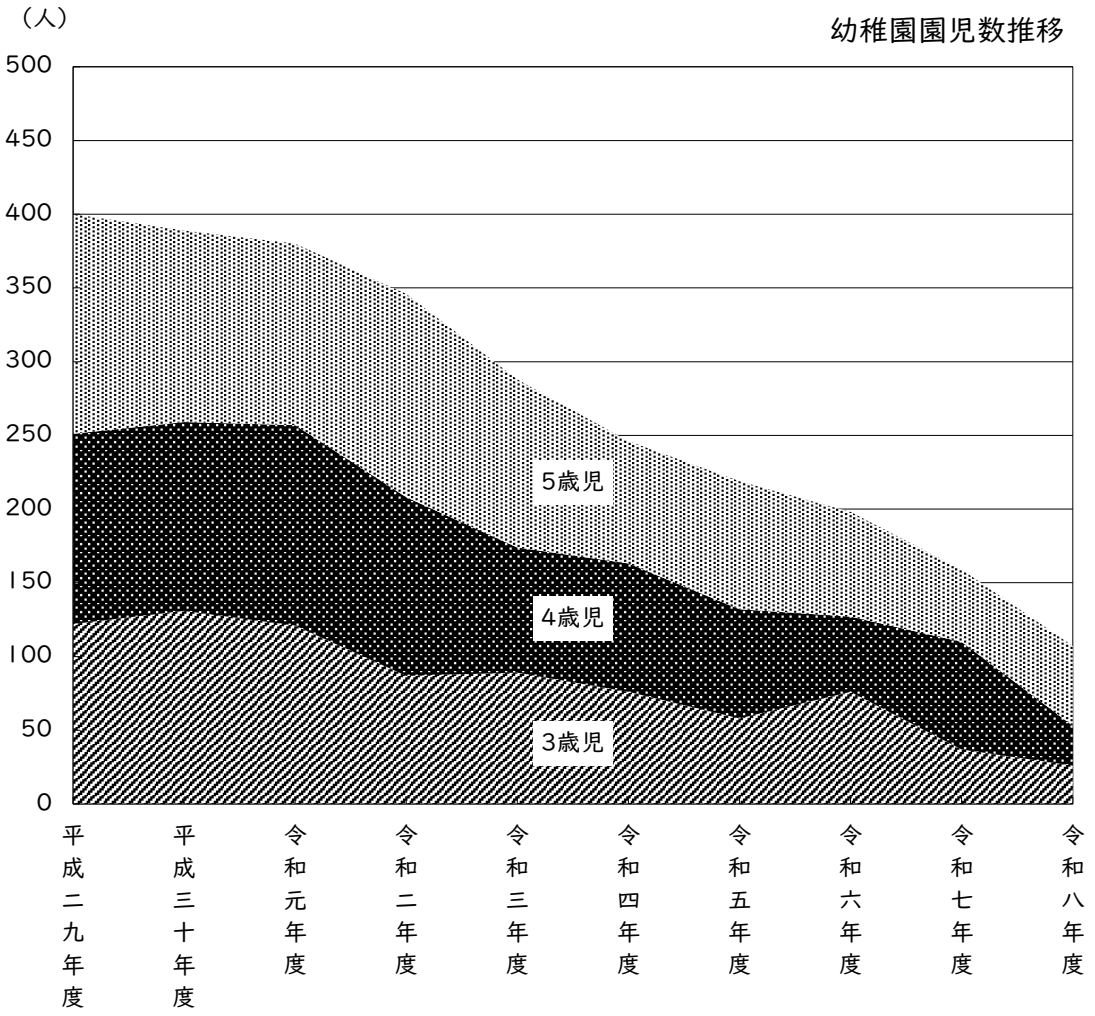
3　幼稚園

【裾野市立幼稚園園児数推移】

各年５月１日現在

	全園児数	３歳児	４歳児	５歳児	学級数	備考
平成 29 年度	400	122	129	149	22	
平成 30 年度	389	131	128	130	23	
令和元年度	380	121	136	123	24	
令和２年度	346	87	121	138	22	
令和３年度	288	89	85	114	20	
令和４年度	246	76	87	83	16	
令和５年度	219	58	74	87	17	
令和６年度	198	76	51	71	14	
令和７年度	159	37	73	49	14	
令和８年度	107	26	27	54	10 (複１)	５園から３園へ



各　幼　稚　園
（３園）

【裾野市立いずみ幼稚園】



1 幼稚園の概要

所在地番	410-1113　裾野市稲荷123-1					
電話	055-992-1683		FAX		055-992-1875	
設立年月日	昭和 43 年度					
園　長	小澤　晃子					
園長代理	小泉　千恵子					
職員数（人）	県費職員	市費職員				
	兼務園長	園長	園長代理	教諭等	用務員	会計年度職員(内数)
	-	1	1	9	1	7

2 施設の概要

校地面積（㎡）	建物敷地	運動場	その他	合計	
	1,149	1,492	0	2,641	
校舎構造（㎡）	鉄筋	鉄骨	木造	その他	合計
	794	24	119	0	937
プール（m）	あり				
教室数	普通	特別			
	7	2			
校舎完成	昭和 57 年 3 月				

3 幼稚園園児数推移　　各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 29 年度	134	44	44	46	6	
平成 30 年度	145	58	42	45	7	
令和元年度	140	58	45	37	7	
令和 2 年度	115	25	47	43	6	
令和 3 年度	103	34	23	46	5	
令和 4 年度	81	27	31	23	4	
令和 5 年度	75	19	28	28	4	
令和 6 年度	65	22	17	26	3	
令和 7 年度	50	12	21	17	3	
令和 8 年度	44	11	10	23	3	

令和8年度　いずみ幼稚園　グランドデザイン

子どもの実態
・素直で人懐っこい子が多い。
・意欲的に取り組む子が多い。
・集団遊びが得意な子が多い。

保護者の願い
・安全で安心な園生活を送ってほしい。
・様々な経験をしてほしい。
・友達（他者）と関わる力を身に着けてほしい。
・遊ぶ楽しさの実感を体験を通して感じてほしい。

教育課題
・自分で考えたり作り出したりする自主性・創造性を育てる。
・調和のとれた心身の発達を促し、活動に夢中で取り組む。
・友達、異年齢、地域の方とのふれあい、親しみの心やコミュニケーション能力を高める。

教育目標
ひとみかがやく いずみの子

重点目標　　な　：　なんだろう？（興味・関心）
　　か　：　かんがえてみよう。（試行錯誤）
　　ま　：　またあそぼう!!（意欲）

研修目標

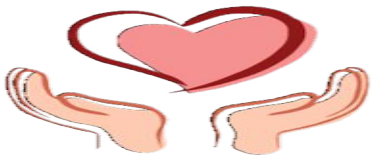
人とのつながりを通して
育ちあう子を目指して

学年目標

3歳	4歳	5歳
教諭や友達と一緒に のびのびと園生活を送る。	個の遊びを深めながら 友達との関わりを持つ。	友達と思いを伝えあいながら 遊びや生活をすすめる。

目指す子どもの姿
☆自分のよさに気づく子どもたち。（自己有用性の発見と自信の創出）
☆友達の優しさ温かさを感じ、自分もそれを自然に出せるようになる。（仲間とともに育ちあう。）
☆様々な体験の中で物事の不思議さ、素敵さ、素晴らしさに気づく。（発見の面白さに気づく。）
☆自分を取り巻く環境（地域の自然や人々）の大切さに気づく。（自ら関わる、自ら発見する力の芽生え。）

園経営目標
地域から愛される幼稚園
＜いずみ発見！＞



安心・安全

・子どもの興味関心に沿った保育計画
・子どもが主体的に取り組む保育環境設定
・子ども理解と自己肯定感・自己有用感が高まる支援
・不適切な保育の未然防止

地域から愛される

・地域を知る（さんぽ・施設見学）
・家庭、地域の力の活用
・家庭、地域への発信
・幼幼・幼保こ・幼小・幼中等との交流連携

【裾野市立西幼稚園】



1 幼稚園の概要

所在地番	410-1118　裾野市佐野1470					
電話	055-992-5200		FAX		055-992-5248	
設立年月日	昭和 49 年度					
園　長	矢島　繭穂					
園長代理	杉山　薫					
職員数（人）	県費職員	市費職員				
	兼務園長	園長	園長代理	教諭等	用務員	会計年度職員(内数)
	-	1	1	9	1	8

2 施設の概要

校地面積（㎡）	建物敷地	運動場	その他	合計	
	1,302	1,191	0	2,493	
校舎構造（㎡）	鉄筋	鉄骨	木造	その他	合計
	0	719	30	0	749
プール（m）	あり				
教室数	普通	特別			
	5	1			
校舎完成	昭和 49 年 11 月				

3 幼稚園園児数推移　　各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 29 年度	96	24	32	40	4	
平成 30 年度	96	24	32	40	4	
令和元年度	98	24	41	33	5	
令和 2 年度	99	22	33	44	5	
令和 3 年度	77	24	22	31	4	
令和 4 年度	67	22	28	17	3	
令和 5 年度	69	19	21	29	4	
令和 6 年度	68	30	17	21	4	
令和 7 年度	60	16	29	15	4	
令和 8 年度	54	11	15	28	4	

7. 経営方針

市運営方針

基本理念
共に学び、つながり合い、多様な個性を活かしながら、未来を拓く人づくり

基本方針
1 自分を生かす教育　　2 多様性に満ちた教育
3 地域とともにある教育　　4 教育を支える基盤作り

基本目標
豊かな心、生きる力の育成

教育目標　**ひとりひとりが輝く子**

重点目標　**ちがっていても　それもいいね**
～互いを認め、共に育とう～

教育方針

- 友達と遊び、様々な体験を重ねる中で、人と関わる力を育てていきます。
- 思いを伝え合うことを大切にしながら、一人ひとりの良さを認め合える関係作りを進めていきます。
- 「やる、やらない」の気持ちも大切に受け止め、安心して自分を出せる環境を整えることで、子どもたちの主体性を育んでいきます。
- 子ども･保護者･職員みんなが同じ目線で互いを大切にし、違いを認め合いながら、共に育ち合える幼稚園をめざします。

<u>保護者の願い</u>
- 友達と仲良く遊んでほしい
- いろいろな体験をしてほしい
- のびのびと遊んでほしい
- 思いやりのある子に育ってほしい
- 保護者同士の関わりを広げ、子育てを楽しみたい

<u>こどもの実態</u>
- 西小､南小学区から通っている
- 家庭で大切に育てられている
- 素直で人懐こく明るい子が多い
- 生活や運動面の経験に個人差がある
- 他学年の遊びにも興味をもち積極的に参加する

<u>研修テーマ</u>　（研究構想作成）
「ちがっていても　それもいいね　～互いを認め、共に育つ保育の工夫～」

<u>学級経営</u>　（学級経営案作成）
学年目標
3歳　友達や保育者と一緒に園生活を楽しむ
4歳　認め合う中で遊びの楽しさを共有できる友達
～いいね すごいね どうやるの～
5歳　友達と思いを伝え合いながら、園生活を進める

【裾野市立須山幼稚園】



1 幼稚園の概要

所在地番	410-1231　裾野市須山158-1					
電話	055-998-0096		FAX		055-998-0854	
設立年月日	昭和 33 年度					
園　長	坂田　悦子					
園長代理	―					
職員数（人）	県費職員	市費職員				
	兼務園長	園長	園長代理	教諭等	用務員	会計年度職員(内数)
	-	1	-	4	1	1

2 施設の概要

校地面積（㎡）	建物敷地	運動場	その他	合計	
	1,116	2,027	0	3,143	
校舎構造（㎡）	鉄筋	鉄骨	木造	その他	合計
	0	87	324	0	411
プール（m）	あり				
教室数	普通	特別			
	3	1			
校舎完成	昭和 63 年 2 月　　平成 12 年 3 月				

3 幼稚園園児数推移　　各年 5 月 1 日現在

	全園児数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	学級数	備考
平成 29 年度	37	14	10	13	3	
平成 30 年度	29	6	13	10	3	
令和元年度	25	7	6	12	3	
令和 2 年度	16	3	8	5	3	
令和 3 年度	20	8	4	8	3	
令和 4 年度	18	7	6	5	3	
令和 5 年度	19	5	7	7	3	
令和 6 年度	13	2	5	6	2	
令和 7 年度	10	2	3	5	2	
令和 8 年度	9	4	2	3	2	

経営方針　令和８年度グランドデザイン

教育目標　豊かな感性をもち 自らやってみようとする子

重点目標　楽しい！　やりたい！　また遊ぼう！

＜研修テーマ＞

一人一人に応じるために…

目指す教師の姿勢

＜一人一人に応じた適切な関わり＞
◎一人一人を見つめて理解する
◎一人一人が本当に求めていることを把握する
◎一人一人を活かした集団を作り出す

手だて

◎毎日の振り返り「見つめる日誌」
◎職員間での振り返り「リフレクションタイム」
◎“10の姿”で振り返り「エピソード記録」

３歳児
友達や先生と一緒に伸び伸びと園生活を楽しむ

４歳児
自分がしたい遊びを十分に楽しみながら興味関心を広げていく

５歳児
思いを伝えあいながら友達と一緒に遊びや生活を進める

子どもの姿

・自分の思いをそのまま表現できる。
・小規模で異年齢のかかわりが自然にできている。
・少人数で生活しているため、社会性や公共性を学ぶ機会が少ない。

大人の願い

・園内外で様々な体験をしてほしい。
・夢中になれる好きなことを見つけてほしい。
・思いやりの心をもち、よく考える力を身につけてほしい。

須山幼稚園の強み

・豊かな自然の中で様々な体験活動ができる（芝生遊び、林探検、沢遊び、虫捕り、栽培、雪遊びなど）
・少人数ならではの、一人一人に応じた教育活動ができる
（その子の成長のペースに合わせた発達の支援や、「分かる」「できる」の支援）

小学校がとなりにある・小中学校といつでも行き来ができる・地域の方々の温かい支えがある須山幼稚園

＜須山幼小中連携＞ **自ら学び、共に育ち、未来をつくる　須山の子**

合言葉：「やってみたい」を　だいじにしよう

「幼小中連携連絡協議会」義務教育修了時に願う子供の姿を幼小中で共有
・定期的な情報交換等により、連携の深化を図る。

「幼小中の研究交流」
・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの繋がりを意識した架け橋期のカリキュラムの共有と実行を幼小接続に生かす。
・園児、児童、生徒の交流と教職員の交流により異校種への理解を深める。

「豊かな体験活動を支える地域との連携」
・コミュニティ・スクール、地域学校協働本部事業、学校（幼稚園）評議員、PTA、等との連携
・地域の方々との交流（探検活動の支援、交流会、野菜栽培、〇〇教室、など）